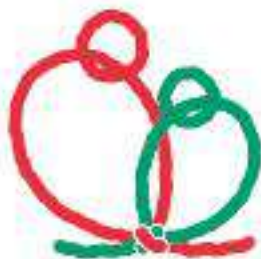


令和4年度

事業報告 I

(活動実施報告・評価と課題)



温かい家で育む——確かな絆

第二赤間保育園

AKAMAFUKUSHIKAI

目 次

- I 令和4年度 第二赤間保育園入所児童数の状況・・・・・・・・・・ P 1
- II 職員の配置実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- III 災害・安全実施報告・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3～P 4
- IV 健康・衛生実施報告・・・・・・・・・・・・・・・・ P 5～P 6
- V 保護者支援活動実施報告・・・・・・・・・・・・ P 7～P 11
- VI 社会貢献活動実施報告・・・・・・・・・・・・ P 12～P 14
- VII 地域交流実施報告・・・・・・・・・・・・ P 15
- VIII 職員研修報告・・・・・・・・・・・・ P 16～P 18

令和4年度 入所児童数の状況

(定員 130名)

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	在所率
令和4年4月1日	11名	26名	24名	23名	22名	17名	123名	94.61%
令和4年5月1日	12名	27名	24名	23名	22名	17名	125名	96.15%
令和4年6月1日	13名	27名	23名	23名	22名	17名	125名	96.15%
令和4年7月1日	15名	26名	23名	24名	22名	17名	127名	97.69%
令和4年8月1日	15名	27名	23名	24名	22名	17名	128名	98.46%
令和4年9月1日	16名	28名	23名	25名	22名	17名	131名	100.76%
令和4年10月1日	16名	28名	23名	25名	22名	17名	131名	100.76%
令和4年11月1日	16名	28名	23名	25名	22名	17名	131名	100.76%
令和4年12月1日	19名	27名	23名	25名	22名	17名	133名	102.30%
令和5年1月1日	19名	27名	23名	25名	22名	17名	133名	102.30%
令和5年2月1日	20名	27名	23名	25名	22名	17名	134名	103.07%
令和5年3月1日	20名	27名	23名	25名	22名	17名	134名	103.07%

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
在所人員の合計	1228名	1334名	1555名
定員の合計	1080名	1080名	1560名
平均在所率	113.6%	123.4%	99.67%
平均在所人員	102人	111人	130人

【職員の配置実績】

第二赤間保育園

① 正規職員

職種	当初配置	増減	年度末配置
園長	1名	0名	1名
副園長	1名	0名	1名
主任保育士	1名	0名	1名
副主任保育士	2名	0名	2名
保育士	10名	-2名	8名
栄養士	2名	0名	2名
事務	2名	-1名	1名
合計	19名	-3名	16名

② 非常勤職員（常勤・短時間）

職種	当初配置	増減	年度末配置
保育士	8名	7名	15名
看護師	1名	0名	1名
子育て支援員	3名	0名	3名
保育補助員	1名	1名	2名
栄養士	1名	0名	1名
調理員	1名	0名	1名
用務員	1名	0名	1名
合計	16名	8名	24名

【災害・安全実施報告】

1. 年間目標

- 1) マニュアルを周知し実行することで、全職員一定の水準を保つ
- 2) リスクを把握し事例の収集を行い、事故や怪我の予防や再発防止に取り組む
- 3) 子どもに向けた安全教育を行い、子ども自身がリスクを回避できるようにする

《定期事業》

- ・避難・消火訓練、不審者訓練、地震訓練（毎月1回）
- ・緊急訓練（年5回）・水害訓練（年2回）
- ・消防設備点検（業者依頼 年2回）、自動ドア点検（業者依頼 年1回）、空調点検（業者依頼 年2回）
- ・遊具点検（業者依頼 年2回）
- ・交通マナー・ルールの確認（園児・職員・保護者）
- ・リスクマネジメント会議（毎月1回）

4月	5月	6月
避難・消火訓練 不審者訓練 地震訓練 緊急訓練① リスクマネジメント会議	避難・消火訓練 不審者訓練 地震訓練 遊具点検① リスクマネジメント会議	避難・消火訓練 不審者訓練 地震訓練 水害訓練① リスクマネジメント会議
7月	8月	9月
避難・消火訓練 不審者訓練 地震訓練 緊急訓練② リスクマネジメント会議	避難・消火訓練 不審者訓練 地震訓練 緊急訓練③ 消防設備点検① リスクマネジメント会議	避難・消火訓練 不審者訓練 地震訓練 リスクマネジメント会議
10月	11月	12月
避難・消火訓練 不審者訓練 地震訓練 緊急訓練④ リスクマネジメント会議	緊急訓練④ 避難・消火訓練 不審者訓練 地震訓練 空調点検① 交通マナー・ルールの確認 リスクマネジメント会議	避難・消火訓練 不審者訓練 地震訓練 リスクマネジメント会議
1月	2月	3月
避難・消火訓練 不審者訓練 地震訓練 リスクマネジメント会議	避難・消火訓練 不審者訓練 地震訓練 水害訓練② 消防点検② リスクマネジメント会議	避難・消火訓練 不審者訓練 地震訓練 リスクマネジメント会議

【評価】

- ・各マニュアルをクラスに設置して周知をし、日々安全・安心して過ごせる環境づくりに努めた。
- ・園バスの安全運行を確保するため、「園バス車両点検表」「バス運転者健康チェック」「園バス利用人数確認表」等を新たに作成してリスク管理を実施した。
- ・日々のヒヤリハットからリスクを職員間で共有し、朝礼や終礼、毎月行う職員会議やクラス会議、リスクマネジメント会議等で確認・周知することで大きな怪我や事故を防ぐことができた。
- ・火災・地震・不審者訓練を毎月行い、緊急事態に備えた。また、緊急訓練では起こり得るケースを想定し、AEDを使用した心肺蘇生やケガ・事故の対応について看護師と演習を行った。
- ・各年齢の子どもの成長発達や興味関心、子どもひとり一人の特徴に合わせて、起こり得る危険を事前に想定して安全教育を行い、子ども自身が安全や危険を認識して行動できるように努めた。

【課題】

- ・児童福祉施設の設備運営基準等の一部を改正する省令が公布され、令和5年4月1日の施行を前に「保育園における安全計画」を作成するとともに、緊急時の職員の役割分担や安全のための取り組みについて全職員で共有し、園児には自らが安全や危険を認識できるように、緊急時の約束や行動の仕方について繰り返し知らせていく。

各訓練実施状況

【火災訓練】



【地震訓練】



【不審者訓練】



【緊急訓練】



【風水害訓練】



【健康・衛生実施報告】

1. 年間目標

- 1) 子どもの心身の健康状態について園と家庭の相互の情報を共有する
- 2) 疾病の早期発見に努め、最善の対応を行う
- 3) 衛生・健康管理マニュアルを周知し実行することで、感染症の流行、拡大防止に努める
- 4) 子どもに向けた衛生教育や体力づくりを通して、自ら健康増進を図る

《定期事業》

- ・全園児健康管理、身体計測、職員腸内細菌検査（毎月1回、9月と3月は全職員）
- ・既往症確認との面談（随時）、ほけんだより（毎月）、病気状況と感染症情報（必要に応じて随時）
- ・アレルギー、除去食の確認（半年1回、必要に応じて随時）
- ・食中毒、感染症予防対策の園内消毒と換気、手洗い等の徹底（毎日）
- ・つめ（週1回）、しらみチェック（随時）
- ・虐待の予防、早期発見対応
- ・与薬の管理とチェックの仕方、各クラス温度、湿度チェック
- ・環境チェック（毎日：PM2.5、光化学オキシダント）（随時：紫外線・熱中症指数、花粉）
- ・救急用品点検（毎週1回）、衛生用品の備蓄点検（月1回）
- ・救命講習（中止）、流行性疾病対策会議（随時）、害虫駆除（年2回）

※新型コロナウイルス対策

- 全園児・職員の健康・体温チェックと保護者の体温チェック（毎日）
- 手洗い（殺菌・消毒用ソープとアルカリ水・次亜塩素酸水）、消毒（次亜塩素酸水）と換気
- 新型コロナウイルス感染予防対策として、保護者へ協力要請と注意喚起（随時）

4月	5月	6月
裸足保育（全園児 通年） 既往症確認と面談 アレルギー、除去食確認 衛生用品の備蓄点検 身体計測、職員腸内細菌検査	尿検査①（全園児） 布団クリーニング① 衛生用品の備蓄点検 身体計測 職員腸内細菌検査	園児健康診断①（全園児） 園児歯科健診①（全園児） 布団クリーニング② 衛生用品の備蓄点検 身体計測 職員腸内細菌検査
7月	8月	9月
衛生用品の備蓄確認 身体計測 職員腸内細菌検査	衛生用品の備蓄確認 身体計測 害虫駆除①（本園） 職員腸内細菌検査	アレルギー、除去食確認 衛生用品の備蓄確認 身体計測 職員腸内細菌検査（全職員）
10月	11月	12月
布団クリーニング③ 4歳児健康診断 園児健康診断②（全園児） 園児歯科健診②（全園児） 尿検査②（全園児） 衛生用品の備蓄確認 身体計測 職員腸内細菌検査	衛生用品の備蓄確認 マラソン開始 身体計測 害虫駆除①（分園） 職員腸内細菌検査	衛生用品の備蓄確認 職員腸内細菌検査
1月	2月	3月
布団クリーニング④ 衛生用品の備蓄点検 身体計測 職員腸内細菌検査	布団クリーニング⑤ 衛生用品の備蓄点検 身体計測 職員腸内細菌検査	衛生用品の備蓄点検 身体計測 職員腸内細菌検査

【評価】

- ・園児・職員は、昨年度に引き続き登園時の検温と健康観察で健康状態の把握に努めた。
- ・各感染症の感染拡大防止対策として、手洗い・うがいを場面ごとに行い、基本的な衛生管理と健康管理について学ぶ機会を設けた。
- ・園児の健康状態の情報共有のため、園内における病気状況を園内掲示と ICT（コドモン）による一斉配信等で情報開示し、感染症拡大防止に努めた。
- ・ほけんだよりを通して園と家庭が連携して、子どもの健康や病気についての理解を深め、早めの対応を心掛けた。
- ・園児一人ひとりの情報（入園時のフェースシートや児童調査票）を基に、個々の既往歴や心身の状態を共有し、全職員で個別対応に努めた。
- ・園児の身長体重を毎月計測して身長・体重の増加を知り、病気（小児の糖尿病など）との関連や児童虐待、ネグレクトとの関連性も考慮した。また、身体計測の結果を、ICT（コドモン）で各家庭へ配信することで保護者と共有することができた。

【課題】

- ・職員は各感染症の感染源や感染経路を理解して対応できるように園内で学び合う時間を設ける。
- ・新型コロナウイルス感染症については、感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ「5類」へ移行されたが、引き続き衛生管理に努める。
- ・児童虐待のマニュアルを周知し早期発見に努めるとともに、関係機関との連携を図り支援をする。
- ・要保護児童については全職員に周知し、ケアや支援を十分に行えるようにする。

【保護者支援活動実施報告】

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一部を中止とする

1. 目的

- 1) 保育園の保護者を対象にした、「一日保育士体験」や「ほんわかクッキング」、「子育てトークサロン」を通して、子育ての知識や保育の専門性を理解していただき、子育てのパートナーシップを築く
- 2) 子どもの健全育成及び子育て家庭の支援を図り、子育ての楽しさや喜びを実感していただく

《事業内容》

・一日保育士体験

- ・お子さまのクラスに一日入り、集団生活のなかで我が子の新たな姿を発見したり、他児とかかわることで子どもの成長発達における集団保育の大切さを理解していただく
- ・保育職の疑似体験をとおして、保護者が共に子どもの成長発達、かかわり方といった子育ての重要性を共通認識する

・ほんわかクッキング 中止

- ・保育園で提供している、おやつを栄養士と一緒にクッキングし、保育園給食を体験する
- ・食に関する様々な悩み（偏食・個食・マナーなど）を栄養士と共有し、園と家庭で豊かな食育環境を整える

・子育てトークサロン 中止

- ・保護者がほっと一息つける場所や活動を準備し、保護者同士や保育士・栄養士との繋がりを深める

・保育参観・個人懇談

4月	5月	6月
		21日～保育参観・個人面談 7月23日まで
7月	8月	9月
～23日まで 保育参観・個人面談		
10月	11月	12月
	21日～保育参観・個人面談 12月24日まで 28日～一日保育士体験 5歳児保護者全員参加（2月まで） 0～4歳児保護者（随時自由参加）	～24日まで 個人参観・個人面談
1月	2月	3月
		保護者アンケート実施 （全保護者） 令和5年度入園前面談 重要事項説明（0歳児～4歳児）

【評価】

- ・コロナ禍であったが、後半から「一日保育士体験」等に積極的に取り組んだ。参加された保護者の方は、家庭では見られない周囲の人への優しさや思いやりの心、また集団生活の中での規範意識の育ちを感じられ、安心された様子が伺えた。
- ・保育参観・個人面談は、期間を長く設けて自由なスタイルで参観していただくことができた。

【課題】

- ・家庭と保育園が共に子育てをする仲間として、今後も子どもの育ちを日々共有し様々な支援を行っていきたい。

6月・7月 保育参観参加人数

7月1日現在 在園児数 日程		0歳児 (15名)	1歳児 (26名)	2歳児 (23名)	3歳児 (24名)	4歳児 (22名)	5歳児 (17名)	合計 総園児 (127名)
		6月	20日(月)～25日(土)	6	10	4	8	8
27日(月)～7/2日(土)	1		6	4	4	6	3	24
7月	4日(月)～9日(土)	6	3	10	5	4	4	32
	11日(月)～16日(土)	1	6	3	4	0	3	17
	18日(月)～23日(土)	0	0	1	2	1	0	4
		14	25	23	23	19	17	120

6月・7月 個人面談参加人数

7月1日現在 在園児数 日程		0歳児 (15名)	1歳児 (26名)	2歳児 (23名)	3歳児 (24名)	4歳児 (22名)	5歳児 (17名)	合計 総園児 (127名)
		6月	20日(月)～25日(土)	6	9	6	8	9
27日(月)～7/2日(土)	1		6	2	6	7	3	25
7月	4日(月)～9日(土)	5	7	8	1	4	3	28
	11日(月)～16日(土)	1	1	5	5	1	4	17
	18日(月)～23日(土)	0	2	2	2	0	1	7
		13組	25組	23組	22組	21組	17組	121

11月・12月 保育参観参加人数 (5歳児は一日保育士体験)

12月1日現在 在園児数 日程		0歳児 (19名)	1歳児 (27名)	2歳児 (23名)	3歳児 (25名)	4歳児 (22名)	5歳児 (17名)	合計 総園児 (133名)
		11月	18日(金)～26日(土)	2	0	3	1	1
28日(月)～12/3日(土)	2		4	1	5	4	0	16
12月	5日(月)～10日(土)	3	2	3	6	6	4	24
	12日(月)～17日(土)	6	10	5	5	4	2	32
	19日(月)～24日(土)	5	10	9	6	7	3	40
		18	26	21	23	22	9	119

11月・12月 保育参観参加人数 (5歳児は一日保育士体験)

12月1日現在 在園児数 日程		0歳児 (19名)	1歳児 (27名)	2歳児 (23名)	3歳児 (25名)	4歳児 (22名)	5歳児 (17名)	合計 総園児 (133名)
		11月	18日(金)～26日(土)	1	0	5	1	1
28日(月)～12/3日(土)	2		2	1	4	3	0	12
12月	5日(月)～10日(土)	4	4	1	4	6	2	21
	12日(月)～17日(土)	5	10	4	5	4	0	28
	19日(月)～24日(土)	4	9	8	8	8	1	38
		16	25	19	22	22	4	108

一日保育士体験実施報告

<目的> 保育園における生活やあそび、活動を保育士としての体験を通して見ることで、子育てに対する幸せを実感する。

<内容> 子どもたちと一緒に遊んだり活動したり、子どもたちに絵本や紙芝居を読んであげたり、食事や午睡時のお手伝いをお願いする。

<12月～2月までの0歳児から4歳児の保護者の参加人数>

対象年齢 日程	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	合計
12月の参加人数	1名(母)	1名(父)		1名(母)		2名(母) 1名(父)
1月の参加人数			1名(母)	1名(母)	1名(父)	2名(母) 1名(父)
2月の参加人数		1名(母)	2名(母)		1名(母)	4名(母)
合計	1名(母)	1名(父) 1名(母)	3名(母)	2名(母)	1名(父) 1名(母)	8名(母) 2名(父)

<12月～3月までの5歳児保護者の参加人数>

12月の参加人数	1月の参加人数	2月の参加人数	3月の参加人数	合計(5歳児17名)
4名(母)	3名(母) 2名(父)	4名(母)	4名(母)	15名(母) 2名(父)

<終了証明書>



一日保育士体験アンケート集計 24枚

1、 一日保育士体験はいかがでしたか？

得るものがあった・・・24件 特に得るものはなかった・・・0件

2、 1で得るものがあったと答えた方は、あてはまるものに○をお願いします。

- ・園でのわが子の様子がわかった・・・22件
- ・自分の子どもだけでなく、ほかの子どもの成長の様子が参考となった・・・21件
- ・子どもたちと触れ合うことができ楽しかった・・・22件
- ・子どもへの接し方がわかった・・・10件

- ・子ども同士のかかわりの中で見せる子どもの姿が理解できた・・・22件
- ・今後の子育てのヒントが得られた・・・15件
- ・給食やおやつが美味しかった・・・20件
- ・保育者とじっくり話すことができよかった・・・15件
- ・園がどんなことを大切にしているかがわかった・・・16件
- ・集団保育の大切さがわかった・・・18件

3、1で得るものがなかったと答えた方は、どうしてそう思われたのか、お書きください。

●記入者なし

4、来年も参加したいと思いますか？

- ・参加したい・・・22件
- ・どちらかといえば参加したい・・・2件

5、4で参加したくないと答えた方は、どうしてそう思われたのか、お書きください。

●記入者なし

6、一日保育士体験をして新たに気付いた事など、全体を通しての感想をお聞かせください。(自由記述)

- 家では見せない子どもの姿が見られた。子どもの接し方など、参考になる点がありました。
- 靴チェックを毎日行われていること、子どもに合わせて遊びを工夫されていることが分かりました。
- 保育園生活の最後に、また保育士体験ができてよかったです。前回の2歳児の時から皆の成長が見れてとてもうれしかったです。今回このような機会を設けてくださり、本当にありがとうございました。給食もとてもおいしかったです。(卒園前にまた食べることができてうれしかったです)
- 家庭だと慌ただしく過ぎていく中、友だちや先生方とのかかわりや園での行事・活動を通してたくさんの成長をしていることに気づかされました。ありがとうございます。そのおかげで誰かに優しくできたり頑張ろうとする…家だとなかなか見えない姿に気づくことができました。小学校に向けて心配だった気持ちが安心に変わりました。給食やおやつも美味しかったです。
- 家で見る事ができない行動が見れてよかった。毎日働いている先生方の大変さがよくわかった。
- 集団の中できまりを守る、決められた時間で行動する姿が見れて安心しました。
- すごく楽しかったです。また次回も参加したいです。子どもたちが可愛すぎました。
- 保育園での様子をじっくりと見る事ができ、また保育士の皆さんの子どもたちへのかかわり方、接し方がとても勉強になりました。子どもと過ごす時間がとても大切に感じられました。
- 息子の保育園での様子と家での様子が全く違うことにびっくりした。他の同じくらいの月齢の子の状況を見れて、また園の保育の様子が分かり非常に参考になった。
- 子どもの成長に保育士の皆様のかかわりが大きいなと感じるとともに、異年齢のかかわりの大切さも実感しました。保育園で得た子どもとのかかわりを大切に、今後も子育てしていこうと思います。本日はありがとうございました。
- 普段見られない子どもの様子が見れてとても良い経験ができました。ありがとうございました。
- 集団保育での生活は、今後社会に出る際に非常に大切で意味があると改めて感じました。保育園生活での思い出は決して忘れません。時々、遊びに来させてください。本当に貴重な経験をありがとうございました。
- 家では、なかなか子どもの泣く姿を見ないので、発表会と今日一生懸命泣いている姿を見て、自分も少しは子どもに安心感を与えることができているんだなと感じることができ、ほっとしました。また先生方の働く姿を近くで見ることができ、改めてすごいなと感じ有難く思いました。いつも朝早くから夜遅くまでありがとうございます。これからもよろしく願いいたします。
- この素晴らしい取り組みをどんどん拡げていってください。応援しています。
- あっという間で、楽しかったです。ほかの年齢の子と関わる姿を見て、いい経験をさせてもらっているなと思いました。

- とても楽しかったです。只々、皆さんの大変さを実感しました。他の子どもたちと触れ合い、とても勉強になりました。今後の子どもに接する中での考えの幅が広がった気がします。ありがとうございました。
- 他の子どもの成長の様子が参考になりました。ありがとうございました。
- 同じ年の子どもたちに囲まれて、娘が見せる姿や他の子どもたちの様子、かかわりが新鮮でよかったです。先生にもゆっくり相談できる時間もあって安心できました。
- クラスの中に入ることで初めてわかる雰囲気などがあり、とても有意義な一日になりました。ありがとうございました。
- 友だちとのかかわりも成長を感じました。お互いに声掛けや注意をしたり、たくさん微笑ましい部分が見れました。子どもたちに交じって夢中で遊んで楽しかったです。
- とても楽しい体験ができました。普段家庭では見られない先生や友だちともかかわり方を見ることができて、小学校での集団生活も何となく想像することができました。特に問題なさそうだったので安心しました。そして、保育士の仕事の大変さを痛感しました。想像以上に大変だと思い、同時に有難いと思いました。本当に保育士の方々に育てていただいていると思います。感謝しています。これからもよろしく願いいたします。
- 集団の中での子どもたちの様子を見ることができてよかった。家庭での顔と違う一面を見れて面白かった。入学前で友だちともかかわりなど心配はあったので安心しました。
- 保育園での生活の流れや子どもの様子を近くで体験することで、息子が友だちや先生方にお世話になっているのが分かりました。年長さんの時期よりも前に参加した方がよかったかもしれないと感じました。
- 想像していたより子どもたちが皆おりこうさんで楽しかったです。ひとり一人の相手をするのが大変で、どうするのが正しいのか分からないことが……。子ども同士の会話や対応の仕方等見れてよかったです。わがままでキツイというイメージしかなかったのですが（子どもが）、子どもたちが伸び伸びし、皆いい子で楽しかったです。給食も美味しかったです。

【社会貢献活動実施報告】

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一部を中止とする

1. 年間目標

- 1) 子育ての知識や経験、技術を提供しながら子どもの健全育成及び子育て家庭の支援を継続的に図る
- 2) 福祉施設としてできるサービスを他の機関と連携し、これを率先して提供できるように努める

《子育て地域支援事業》中止

- ・「マザーリング・クラブ」(年5回)

テーマ：赤ちゃんのすこやかな“こころ”と“からだ”を育むために

出産を控えたお母さん、育児が始まったばかりの方、これから離乳食を始められる方を対象に赤ちゃんをむかえるための心の準備と育児のノウハウを保育士、看護師、栄養士がアドバイスします。

内 容：妊娠中の過ごし方、マタニティーブルーの予防、育児相談、離乳食の進め方
(担当：保育士・栄養士)

- ・「あそびにおいでよほいくえん！」(年6回)

テーマ：よく食べ、よく遊び、こころのゆとりと健康なからだづくりを応援します。

内 容：キッキーのつながりあそび(担当：保育士)

《地域還元事業》

- ・地域清掃活動(春と秋)
- ・保育実習生・看護大実習生の受け入れ
- ・学生ボランティアの受け入れ
- ・園見学者の受け入れと園見学会

4月	5月	6月
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域一斉清掃 ・学生ボランティア1名 ・入園前園見学者4組 	<ul style="list-style-type: none"> ・園見学者3組 ・学生ボランティア1名 ・学生見学者5名 ・入園前園見学者2組
7月	8月	9月
<ul style="list-style-type: none"> ・学生見学者 ・入園前園見学者2組 ・保育実習生1名 (28日～8月8日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習生1名 (25日～9月5日) ・学生ボランティア1名 ・入園前園見学者6組 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前園見学者8組 ・学生ボランティア1名
10月	11月	12月
<ul style="list-style-type: none"> ・地域一斉清掃 ・入園前園見学者7組 ・入園前見学会参加者14組 ・看護大実習生① 5名(4日間) ・看護大実習生② 6名(4日間) ・学生ボランティア1名 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前園見学会参加者 12組 ・学生ボランティア1名 ・看護大実習生① 5名(4日間) 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前園見学者 1組 ・看護大実習生① 5名(4日間) ・看護大実習生② 5名(4日間)
1月	2月	3月
<ul style="list-style-type: none"> ・入園前見学者 1組 	<ul style="list-style-type: none"> ・入園前見学者 5組 	

【評価】

- ・コロナ禍の地域のつながりや地域活動は制限を余儀なくされたが、学生ボランティアや保育・看護の実習生は積極的に受け入れ、職員は専門職としての支援を行い、子どもたちは遊びや生活を通して交流ができた。
- ・入園前の園見学者には、入園のしおりから抜粋した資料を用いて丁寧に説明を行った。見学をされることにより一層安心され、入園希望へと繋がった。

令和4年度 月別園見学者人数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
4月							0
5月	4						4
6月	3	1		1			5
7月	2						2
8月	6				1		7
9月	8						8
10月	21						21
11月	12						12
12月	1						1
1月	1						1
2月	5						5
3月							0
合計	63	1	0	1	1	0	66

令和4年度 月別入園者人数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	
4月	11						11
5月	1	1					2
6月	1						1
7月	2			1			3
8月		1					1
9月	1	1		1			3
10月							0
11月	1						1
12月	3						3
1月							0
2月	1						1
3月							0
合計	21	3	0	2	0	0	26

《園見学者アンケートより》

●保育園見学はいかがでしたか（自由記述）

- ・何園か見学に行きましたが、資料を見ながら分かりやすく、また親の知りたい部分をしっかり理解された内容でした。実際の様子が見れない（コロナ禍で）のは残念でしたが、園長先生と副園長先生のお話、映像があり大変良かったです。ありがとうございました。ご縁がありましたらよろしくお願いします。
- ・職場の立地から初めは希望していましたが、先生方のお話や映像から園生活がイメージできて、理想的

な園生活ができそうで、よりここに通わせたくくなりました。

- ・園長先生や副園長先生はじめ、先生方の熱意が伝わり、とても素敵な園だと思いました。説明を聞き、入園させてあげたいなと思っています。ありがとうございました。
- ・いつも外から見ている保育園のことをより知ることができました。
- ・実際に目で見て先生の話聞いて、とても共感することが多く、来てよかったです。
- ・とても子どもたちを尊重されていることが伝わりました。また、「楽しませよう！」と作りこまれたものではなく、自らの力で自然と楽しめる環境が素敵だなと感じました。
- ・保育方針を詳しく聞くことができ、満足しています。
- ・参加してとてもよかったです。人気の理由がわかりました。
- ・先生たちが温かく優しい方が多いんだなと思いました。
- ・こちらにぜひ預けたいと思いました。
- ・何園か見学した中で自分が理想する型に近かったです。先生もみんな優しそうで、説明も丁寧でよかったです。
- ・他の保育園と違った保育方針を聞いて良かったです。自然の中ですくすくと育つような保育園生活が魅力的でした。
- ・とても分かりやすい説明で、とても楽しそうな園の印象が伝わりました。
- ・先生方の熱心さがすごく伝わって、通わせたいなと思えました。
- ・丁寧な説明で貴園の活動方針がよくわかりました。「昼間の大きなお家」という言葉はとてもいい言葉だなと思います。

【地域交流実施報告】

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、一部を中止とする

1. 年間目標

- 1) 世代を超えた様々な人との触れ合いや共同体験を通し、子どもの視野を広げる
- 2) 地域社会との交流や連携を図り、園と地域との関係をより身近なものへと深めていく

《異年齢交流事業》

- ・卒園生、地域の小学生の保育活動（清掃、読み聞かせ、ふれあい遊び、催し物）随時
- ・中学生ワクワクワーク

《世代間交流事業》

- ・花まつり 5歳児
- ・新立山登山 4・5歳児 **中止**
- ・運動会、(全児)、発表会 (全児)
- ・ウインターコンサート **中止**、
- ・地域の敬老会 **中止**、地域の方とのふれあいの会 **中止**
- ・ケアハウス慰問 **中止**
- ・いきいきコンサート

4月	5月	6月
・花まつり 5歳児 延期		・花まつり 5歳児 (浄蓮寺) ・いきいきコンサート
7月	8月	9月
10月	11月	12月
運動会未満児クラス (0歳児～2歳児)	運動会以上児クラス (3歳児～5歳児) 絵本の読み聞かせ (エルマー) ミツル&りょうたコンサート パネルシアターの会 ラグビー教室 5歳児 七五三参り 2・4歳児 宗像大社菊花展 4歳児	
1月	2月	3月
まっちゃんコンサート かぼうまコンサート	発表会	

【評価】

- ・地域交流は新型コロナウイルスの影響を受け、令和4年度も実践することが難しかった。
人が大勢集まる運動会や発表会は規模を縮小し、参加者の人数や時間を制限して行った。
- ・後半のコンサートは、ほぼ通常のスタイルで行うことができ、子どもたちの喜ぶ姿が見られた。

【課題】

- ・様々な人との交流は子どもたちにとって大切な経験であり、成長のきっかけになる。コロナが5類に移行されたことを機に、過去からの取り組みを再度見直し活動の精査を行っていく。
- ・行事・活動は園の実態に合わせ、子どもの育ちに欠くことができないもの、どのような方法で取り組むのか等、様々な工夫をしながら実施していきたい。

【職員研修報告】

1、年間目標

- 1) 園の理念や方針の達成を目指し、自己評価に取り組み、個々のスキルを上げる
- 2) 個々のスキルを効果的に連携、共有することで組織力のアップに繋ぐ

《県保協・全国関係・保育士会・行政主催 活動・職員研修報告》

4月	5月	6月
7月	8月	9月
保育士会研修会 人権研修 新任者研修会 安全に関する研修会	キャリアアップ研修 保健衛生・安全対策① 1名 幼児教育① 1名 宗像市幼児教育研修会	キャリアアップ研修 乳児保育① 1名 障がい児保育 2名 保健衛生・安全対策② 1名 幼児教育② 1名
10月	11月	12月
キャリアアップ研修 乳児保育② 1名	キャリアアップ研修 保護者支援・子育て支援 1名 主任研修 宗像市職員研修会	
1月	2月	3月
安全管理研修（リモート） ⇔3月 不適切保育研修（リモート） ⇔3月		

《園内研修報告》

4月	5月	6月
入園のしおりより ・保育理念・保育方針・システムの確認 【社会人・保育者マナー】 ・社会人・保育者としての姿勢 ・保護者対応 【乳児保育】 【安全・衛生マニュアル確認】 【児童虐待マニュアル確認】		
7月	8月	9月
	【応急処置】 ・怪我の処置の仕方 ・薬の取り扱い方 ・心肺蘇生法、AEDの使い方 ・救急車要請の仕方 【健康・衛生について】 ・夏の感染症について ・この時期の感染症とその対応 ・吐物処理の仕方	
10月	11月	12月
	【健康・衛生について】 ・冬の感染症について ・この時期の感染症と対応	
1月	2月	3月
【安全管理について】 ・園バス ・園内外の安全な過ごし方 ・人数確認の仕方 【適切な保育を行うために】 ・人として、保育者としての姿勢と丁寧なかかわり	【安全管理について】 ・園バス ・園内外の安全な過ごし方 ・人数確認の仕方 【適切な保育を行うために】 ・人として、保育者としての姿勢と丁寧なかかわり	【安全管理について】 ・園バス ・園内外の安全な過ごし方 ・人数確認の仕方 【適切な保育を行うために】 ・人として、保育者としての姿勢と丁寧なかかわり

【評価】

- ・職員ひとり一人のライフスタイルを尊重し、職員間が互いを理解し、思いやり・支え合い、安心感の中で保育ができる環境づくりに取り組んだ。
- ・第二赤間保育園が大切にしている「基本理念」「保育方針」、「保育者の心得」や「社会人マナー」等を全職員が共有して、保育に努めた。
- ・外部研修はリモート研修が多く、ディスカッションやコミュニケーションをとる機会が少なかった。但し、研修会場への移動時間などの制限がなかった分、希望する研修が受けやすく、また園に居ながら受講ができる利点から、参加者が1名に限ることなく数名が同時に受講できたことはよかった。

- ・保育の基本である乳幼児のかかわり方や乳児の抱っこの仕方、調乳・授乳の仕方について自主学習（プリント）の時間を設け、共通した認識を持ち、統一した対応で子ども・保護者が安心できる保育環境づくりに努めた。
- ・日常の保育や生活の場面で子どもの意思や思いを受け止め、人権を尊重したかかわりについて各クラス会議や職員会議等で繰り返し確認を行い、子どもの最善の利益が確保できるように努めた。

【課題】

- ・集団の中で気になる様子や行動、また困り感がある子どもとのかかわり方や伝え方など、学習の場を設けて専門的な知識を深め、保育者自身が心に余裕をもって子どもたちへかかわっていく。
- ・子どもが日々安全・安心して過ごせる環境づくりに努め、「安全・衛生」「適切な保育」についてチェックリスト等を用いて適宜確認をし、子どもの最善の利益を保証する。
- ・幼い子どもの安全を守るには、まず保育者の環境を整えることが第一である。そのため、保育の質の向上を目指し、保育実践の研修や保育者間のコミュニケーションを図り、チームワーク保育を築いていく。このことが、保育現場の事故や不適切保育を防ぐことに繋がる。